



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

常北小学校職員トイレについて (令和元年6月)

質問

児童とトイレを共用している。プライバシーの確保からも別にする必要があり、早急に設置を求める。

ランドセルの無償配布について (平成30年10月)

オリジナルの軽いランドセルをプレゼントすることはできないか。

設置に向けて検討している。

答弁

適切な設置場所や可能な施行方法も含め、設置に向けて前向きに検討している。

今後の検討課題としたい。

新入学児・生徒学用品補助金入学支援金等を活用して購入していただければと考えている。

現在の状況は、こうなっています

適切な設置場所や可能な施行方法を検討をしている。

既存の鉄筋コンクリート造の校舎にトイレを併設する場合には、建設基準法上、躯体の強度を保つ必要があることから校舎の壁を取り壊すことができない場所が生じます。そのため、適切な設置場所や可能な施行方法を検討しているところです。

他の市町村の動向を見極めながら検討していく。

ランドセルは、入学祝いとして、祖父母や親族、保護者等から贈られることも多く、贈る側も、もらう側も、それを楽しみにしている傾向も少なからずあります。新入学児童の保護者からのアンケートを取るなど、意向を調査するとともに、他の市町村の動向を見極めながら検討していきます。

編集後記

何故、四季の中で「秋」だけが「深まる」と表現されるのだろうか？夏冬は春秋に比べて日本人の季節感では非常に軽視され、季節の深まりを「秋又は春めいてくる」と言われます。

春が深まって咲いた桜が散り果てて、新緑になるのは風流ではないが、秋が深まって紅葉が真赤になるのは風流というのが根底にあるようです。

「秋深し、隣は何をする人ぞ」病に臥せる松尾芭蕉が、この世を去る二週間前に詠んだ句で、その時は「秋深き」を詠んでいます。

「秋深し」だと傍観者の、軽い言葉に聞こえるが、「秋深き」だと当事者の実感がより強く迫ってくる。

僅かひと文字、されどひと文字。日本語って、すばらしい。

議会広報委員会

委員長 阿久津 則男
副委員長 三村 孝信
委員 藤咲 美子
猿田 正純
加藤 正純
井木 和子
桜井 和子

猿田 正純 記